

# ヒトのカラダを助ける工学

6月13日開催  
Zoomウェビナー

東京理科大学先進工学部は、2023年に「機能デザイン工学科」を設立しました。この新学科は、卒業生が10～30年後に社会で活躍することを見据え、未来の課題に取り組むことを目的としています。特に、人口減少と高齢化が進む中で、高齢者の機能低下を支えるために必要な「ヒトの手」が足りなくなってきました。そこで、「ヒトの手」に替わり、ヒトのカラダの機能を助けるイノベティブな工学を、デザイン思考の力を借りて創出しよう、というのが「機能デザイン工学科」という学科名に込められた意図だそうです。

右に示すように、同学科は、ヒトの機能を「頭」「内臓」「四肢」に分け、それぞれを「知能認識」「メディカル機能」「運動ロボティクス」と名付け、各4研究室、計12研究室から構成されています。

本セミナーでは、東京理科大学のこの新たな試みについて紹介頂けるとともに、その中で、曾我先生が担う知能認識分野フォトニクス研究室における近赤外光の医療応用についてもご講演頂けるとのことです。

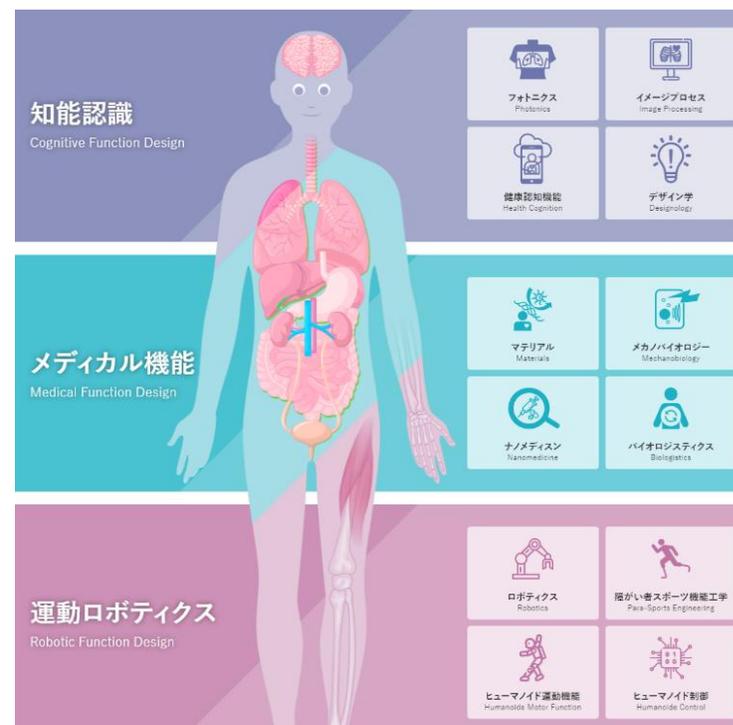
皆様の参加ご登録を心よりお待ちしております。

- **日時** 2025年6月13日 午後2時～午後3時半
- **開催方法** Zoom ウェビナー
- **申込方法** 事前参加登録は右のQRコードからお願いします。
- **参加費用** 無料



主催：川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター  
お問合わせ先：iconm-pr@kawasaki-net.ne.jp

- **演者** 曾我 公平 教授  
東京理科大学先進工学部 機能デザイン工学科  
東京理科大学研究推進機構 生命医科学研究所



機能デザイン工学科ホームページ：<https://tus-senshin.design/kinoden/>